

第8回研究会を6月21日（金）に行いました。

今回は鳥取県の江戸時代を専門にしておられる前県史編さん室長 坂本敬司氏に「碧川かたの父 和田邦之助について」と題して講演をしていただきました。



坂本敬司氏は、1『鳥取藩史』の和田邦之助履歴 2 鶴殿家の四兄弟 3 和田家の事情 4 幕末の政治状況 の内容で詳しく話され、邦之助の時代を学ぶことができました。

邦之助を語る時、特に避けることのできないことは、京都本國寺事件（二十士事件ともいう）であり、このことで邦之助は二十五歳で隠居となるのである。元鳥取藩家老とはいえ、父の不遇はかたの人生にも大きな影響を与えたか？二十士事件がなければ、その後の邦之助の人生は

どうなっていたか？と結ばれた。

講演の中で、家老和田邦之助の部分を用された『鳥取藩史』第一巻。◀



（県立図書館所蔵）

鳥取藩主池田家が藩政の膨大な資料を、明治42年から昭和8年にかけて、その稿本を完成、県が引き継ぎ刊行した。この第一巻には世家・着座家老・藩士列伝がある。講演の後で湯梨浜町でのケーブル制作のDVDを視聴しました。2月にパネル展示をした時に取材されたものです。10分の中で上手にまとめてありました。

三木露風生誕130年記念イベント

記念コンサートと「露風の母 碧川かた」に出演しました。

6月23日露風の誕生日を記念してわらべ館が企画されました。

「赤とんぼ」に始まり、終りも「赤とんぼ」を参加者約60名が歌いました。鳥取出身の岡野貞一作曲、露風作詞の「霜の朝」は美しい詩の曲で聴きました。歌は童謡・唱歌専門の

平緒佐和さん（写真中）と濱崎希さん（写真右）の二人でした。「ふるさとの」に斎藤佳三作曲のほか石桁真礼生作曲のものもあることを知りました。

コンサートの中ほどで「露風の母 碧川かたの生涯」を四井が話しましたが皆さんがしんとして聴いてくださいました。後で涙が出そうになった、こんな人がいたとは知らなかった、と感想を話してくれた人もいました。



わらべ館ではこの後も7月16日まで三木露風展をしています。露風直筆の「赤とんぼ」歌詞・母かたへ露風があてた手紙・露風の作品が掲載された教科書などが展示してあり、見応えがありますので、まだの方はどうぞご覧ください。

（※7月7日は入館料無料です。）

たつの市民との「赤とんぼよ永遠に」打ち合わせ

演劇「赤とんぼよ永遠に」を今秋鹿野での演劇祭ですするため、6月22日（土）にたつのから7名が来られ、ちらし作成等の打ち合わせをして、研究会は事前（10月下旬）にすることにしました。



受付などいっしょによく協力
してくれる野田知子さん

碧川かた研究会でのつながり

四井さんとの御縁は平成十八年春頃、NP

○法人「NALC（ナルク）（ニッポン アクティブラ

イフクラブ）」鳥取支部の立ち上げの席で出
合いました。元看護師さんで、ボランティア
活動の傍ら「碧川かた」の研究をしていると
聞き、私の遠い日の記憶の扉がそっと開かれ
ました。今は一緒に週一回、県図書館の補修ボ
ランティアをしています。

昭和四十六年西宮のM短大国文科に在籍

していた折、家森長治郎先生いえもりのゼミ「三木露
風」の講義を受けました。童謡 赤とんぼの
背景を学びました。龍野（現たつの市）の自

然―揖保川の清流・鶏籠山けいろうざんのすそに広がる桑畑

―秋の日に母の背に負われて見た赤とんぼ、幼
い露風を残して去った母は偶然私と同じ鳥取
出身だったこと……。そして家森先生は「国
民宿舎「赤とんぼ荘」では正午になるとメロデ
イチャイムが鳴ります、是非訪れてほしい」と
穏やかな口調でおっしゃいました。その後すぐ、
友人と龍野を訪ね、露風を偲んだことを思い出
します。

私は現在鳥取市に住んでいますが、倉吉で生
まれました。母は湯梨浜町宮内の生まれです。
私は小さい頃、母に連れられて一の宮倭文神社
のお祭りに行くのが楽しみでした。

最近『よみがえれ 赤とんぼの母』（河越太
郎著）を読みました。私の古い記憶を確認する
と共に筆者の深い知識と熱意を感じることで
できました。

ナルク鳥取 野田知子



『藩史』も『よみがえれ 赤と
んぼの母』も県立図書館の2階
郷土資料のところにあります。こ
の「碧川かた研究会報」も郷土資
料として保存してあるそうです。

霜の朝 三木露風作詞

岡野貞一作曲

一、今朝は霜降りいと寒し
軒に巣くえるむら雀

庭に遊べる鶏にわとりも

羽はねそばたててありにけり

二、われらは行かん学校へ

朝風いかにつよくとも

急ぎて遅刻なきざらん

今日も学びて倦うまざらん

「7月のイベント」

★碧川かた手作り資料展

米子市立図書館2階

7月2日（火）午前中は展示作業

当日午後7月23日（火）3時頃

★碧川かた研究会

「場所」米子市立図書館2階

第3・4研修室

「日時」7月20日（土）

午後1時半～3時半

「テーマ」かたの夫碧川企救男について

※事前申し込みは不要です。

どなたでも参加していただけます。前回
参加の方は是非参加してください。